



人らしき人

川西中学校
令和2年度
学校だより
8月7日号

文責：校長 船木智幸

感謝の気持ちを込めて

7月22日（水）に、本校の第4代校長の小野明彦校長先生の掲額式を校長室で行いました。小野明彦校長先生は平成30年度と令和元年度の2年間、川西中学校の経営に当たられました。常に「推し量る心」をもって生徒に向き合い、同僚と向き合い、教育に当たることをご指導いただきました。飯豊中学校においても、一人ひとりの生徒を温かいまなざしで見つめ、得意のデッサンで生徒の表情を描き、自尊感情を育てられていることと存じます。あらためて、小野明彦校長先生のご功績に感謝申し上げます。



同日、本校の教育振興会前会長の小林俊一様と前PTA会長の渡部亨様に感謝状をお贈りしました。

小林俊一様には本校初代PTA会長として2年間、町全体の中学生の保護者の代表として学校と地域との連携にご尽力いただきました。その後、7年間にわたり教育振興会の会長として、その重責を担っていただきました。任期7年間の間には、本校が町教育委員会よりコミュニティスクールの指定を受け、地域とのより充実した連携が求められたり、少子化に伴う部員数の減少を見据えて、部活動の改廃基準の策定に関わるなど、大きな変化に対応できる学校づくりの後押しをしてくださいました。現在は学校運営協議会の委員として5年目の任期となり、引き続き学校教育へのご助言をいただいております。

前PTA会長 渡部亨様にはPTA副会長を経て、平成30年度と令和元年度の2年間、PTA会長としてご尽力いただきました。PTA会長として最初の会報では「私たち親は自信を持って子どもたちに背中をみせられているでしょうか。」との問いかけをされています。生徒の健やかな成長のためには、私たち大人が模範を示す必要があると、PTAの原点について話されています。一昨年度は県のPTA研修大会上山大会においてパネリストとして、「情報モラルの確立と適切なメディアの対応を図るために」と題して発表をされ、昨年度は東北PTA研修大会において、フレンドリープラザを会場に行われた分科会の運営を担い、成功裏に終わることができました。今年度からは教育振興会会長として、生徒にとって最善の教育環境作りのためにご尽力いただいております。

